

# なめがわ 議会だより

福田小 天日干し稲刈り体験

沼  
水が  
支えてく  
れた  
米づくり

○決算審査

○議案審議

○一般質問



# 第248回 滑川町議会 9月定例会

本議会は決算議会として令和6年度一般会計、3つの特別会計、企業会計の水道事業会計と下水道事業会計を認定しました。そのほか一般会計・特別会計補正予算など21議案が慎重審議され原案通り可決されました。

## 第248回滑川町議会定例会（9月2日～9月9日） 審議結果一覧

### ● 全員賛成の議案

議案番号	件 名
条例に関する議案	
議案第49号	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正（法律の改正に基づく住登外者宛名番号を付番・管理するための規定の整備）
議案第50号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正（法律の改正に基づく職員の育児等に伴う休業取得に関する規定の整備）
議案第51号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正（法律の改正に基づく職員の育児等に伴う休業取得に関する規定の整備）
議案第52号	事務手数料条例の一部改正（自治体情報システムの標準準拠による証明書の様式変更に伴う規定の整備）
議案第53号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正（政令の施行に対応する条項の整理・修正）
議案第54号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正（政令の施行に対応する条項の整理・修正）
議案第55号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正（法律の改正に基づく条項の整理・修正）
令和7年度滑川町補正予算に関する議案	
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて（一般会計（第2号））（定額減税にかかる不足額給付金）
議案第56号	一般会計（第3号）（国庫支出金・県支出金の増額、前年度繰越金の確定等に伴う補正）
議案第58号	介護保険特別会計（第1号）（前年度決算に伴う負担金返還分等の補正）
議案第60号	水道事業会計（第2号）（水道料金減免に伴う財源補正等）
議案第61号	下水道事業会計（第2号）（事業費精査等に伴う公共下水道事業費用及び浄化槽事業費用の補正）
その他の議案	
議案第62号	工事変更契約の締結（宮前小学校浄化槽設置工事の増額変更）
議案第63号	基本協定書の締結（公園駅南通大橋の補修工事）
議案第64号	財産の取得（避難所用パーテーション）
議案第65号	財産の取得（組立式トイレ）
議案第66号	財産の取得（防災倉庫）
議案第67号	工事請負契約の締結（指定避難所空調設備設置工事）
認定第2号	令和6年度滑川町水道事業会計における剰余金処分及び決算の認定
認定第3号	令和6年度滑川町下水道事業会計における剰余金処分及び決算の認定
滑川町の人事案件に関する議案	
議案第68号	教育委員会委員の選任

### ● 審議の分かれた議案

議案番号	審議結果一覧	議席番号	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議長
		結果	小澤 実	上野 葉月	瀬上 邦久	阿部 弘明	西宮 俊明	北堀 一廣	松本 幾雄	赤沼 正副	原 徹	谷嶋 稔	中西 文寿	吉野 正浩	井上 章	内田 敏雄
令和7年度滑川町補正予算に関する議案																
議案第57号	国民健康保険特別会計（第1号）（国庫支出金・県支出金の決定、前年度繰越金の確定等に伴う補正）	賛成多数	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	後期高齢者医療特別会計（第1号）（国庫支出金の決定、前年度繰越金の確定等に伴う補正）	賛成多数	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
その他の議案																
認定第1号	令和6年度滑川町一般会計及び特別会計決算の認定	賛成多数	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※○は賛成 ×は反対 ※人事案件の採択については「同意」となります。 ※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

# 令和6年度会計 歳入歳出決算認定



(単位：円)

会 計		歳入 (A)	歳出 (B)	差引額 (A - B)
一 般 会 計		8,475,950,333	8,141,675,579	334,274,754
特別会計	国民健康保険	1,495,892,856	1,436,093,372	59,799,484
	介護保険	1,372,381,166	1,167,545,871	204,835,295
	後期高齢者医療	248,040,732	235,267,286	12,773,446
合 計		11,592,265,087	10,980,582,108	611,682,979

(単位：円)

		収入	支出
水 道 事 業	収益的収支	382,613,388	367,187,373
	資本的収支	266,750,226	325,161,686
公 共 下 水 道 事 業	収益的収支	353,985,248	360,745,267
	資本的収支	145,729,530	141,176,523
農 業 集 落 排 水 事 業	収益的収支	104,214,802	99,649,724
	資本的収支	35,579,000	36,199,195
公 共 浄 化 槽 事 業	収益的収支	28,584,865	24,056,786
	資本的収支	5,903,400	6,375,579

※収益的収支：収入とは一事業年度における営業活動に伴い発生する収益、支出とはそれに対応する費用

※資本的収支は将来の営業活動に備えて行う諸施設の建設改良費や企業債の元金償還の支出とその財源となる収入。

※資本的収支の不足額は当年度消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補填。

## 監査委員による決算意見書

- 実質収支比率は前年度の6.2%から5.4%に下がっているものの、実質収支は今年度も黒字を維持している。
- 経常的収支比率は、財政構造の弾力性を判断するもので、前年度の89.8%から91.9%に上がっている。人件費、扶助費、公債費などの経常的経費の適正な管理執行に充分留意されたい。
- 町債残高は若干の減少傾向にあるが、町債は長期間の借金であり、公債費の継続的増大を伴うものであるから、極力抑制に努められたい。
- 今後も行政要望に伴う事務事業や教育環境整備等に関わる財政負担等、財政を取り巻く状況は依然として厳しさが続くものと思われる。したがって、予算の執行に当たっては、事務の効率化及び事業の必要性を徹底検証されたい。そして受益者負担等の自主財源の確保や、一部の事務事業の見直しを含めた事業効果を十分検討のうえ、引き続き経費の削減に取り組んでいただきたい。
- 経常収支比率は、ここ数年高い比率で推移し財政的余裕が乏しくなっているため、財政の健全化になお一層の努力をされたい。
- 予算の管理執行については歳入欠陥、不用額などが見受けられるため、適切な予算の管理執行に努められたい。特に歳入欠陥は、歳出予算に大きな影響を及ぼすため、適切な予算の管理に努められたい。

## 総括質疑

Q 第6次総合振興計画基本構想「策定の作業が始まっている。策定にあたって取り組まれたアンケートから町の課題を述べる。「自然環境の保護」の課題は町の魅力を保全する課題だ。太陽光条例の改正、福田小などによる「沼の自然調査」を広げるなども必要だ。

「農業支援の強化」は緊急の課題だ。今、守らなければ5年後、10年後にはいなくなる。町独自で農家への所得補償や価格保障を行う。学校給食を直営方式で地産地消を進め、有機農業や無農薬化で安全な給食の提供を進める。等の施策が必要だ。

「若者の定着のための産業振興」は若者の就業・就学先は町内が14%に留まっている町の課題だ。企業誘致だけでは改善が見られない。今後、高齢化社会に対応する「福祉産業」と担い手である労働者の育成が必要だ。町は福祉産業の育成と担い手を養成する学校の誘致など魅力ある産業育成を行うべきだ。

「公共施設の整備」では駅周辺の整備計画を住民参加で行うことが求められる。

A 第6次総合振興計画の骨子を策定中。現時点で課題として公民連携のにぎわいづくり、雇用の創出、産業支援などがある。今後、原案を各種審議会に諮る予定。

# 決算審査特別委員会

町全体の決算額（歳出）は約 123 億円。下水道等・国民健康保険等を除いた一般会計歳出総額は約 81 億円。歳入・歳出ともに3年連続の増加となっています。



決算審査 委員長・副委員長

町の財政状況が年々悪化している

**Q** 財政力指数の推移と悪化の要因は。

**A** 財政力指数は年々低下傾向。今後の人口増加は限定的で社会保障費の増加等により、財政力指数は横ばいか、少しずつ低下していくと予想されている。

**Q** 実質単年度収支の赤字が続いているが。

**A** 令和5年度・6年度ともに2年連続で実質単年度収支が赤字となった。赤字が複数年続くと財政状況が非常に悪い状況だ。基金の積立・取り崩しにも注視していく必要がある。

財政力指数と実質公債費比率の傾向と今後の対策は

**Q** 財政力指数が低下している一方で、実質公債費比率は改善している。これは歳入確保に課題がある一方で、堅実な財政運営が行われていることを示唆していると思われる。今後の進め方は。

**A** 近年は国の物価高対策による普通交付税の再算定等の影響により、財政力指数の低下があつたと考えている。今後は公共施設整備による公債費増が見込まれるため、ふるさと納税等を活用し収入を確保し、健全な財政運営を目指す。

税金滞納者の電話催促の効果は

**Q** 税の滞納者への電話催告の効果はどの程度か。

**A** 令和6年度に電話催告を実施した件数は587件。227件で滞納者と連絡が取れ、30件程度に納付書を発送した。納付があつたのは20名程度。電話催告でおおよそ3、4%程度が納付につながった。

退職職員の勤続年数は

**Q** 職員退職者の勤続年数に

ついて。

**A** 令和6年度中に普通退職した職員は3名（30代1名、50代1名、60代1名）。30代の退職者の勤続年数は10年。

町民保険課の会計年度任用職員

**Q** 町民保険課の会計年度任用職員の属性と業務内容は。

**A** 5名全員が女性。3名はマイナンバーカード関連業務、住民票、印鑑証明等の業務を担当。

2名は国民年金、国民健康保険等の窓口業務。

農業委員のなり手不足

**Q** 農業委員のなり手不足が課題となっている。対応は。

**A** 認定農業者の人数は要綱で規定されており要件緩和は困難。

雑草刈払い等作業員手数料

**Q** 雑草刈払等作業員手数料の支出先は。

**A** 個別発生した作業に対する支払いであり一括でシルバー人材センターに発注しているものではない。町で管理する公園、球場等の施設の補修・草刈り・枯れ木剪定等には、シルバー人材センターだ

けでなく民間事業者へ依頼した作業も含まれている。

陸上自衛隊高等工学校  
の募集は不適切では

**Q** 自衛官募集事務委託金（21000円）がある。これにより町の広報で陸上自衛隊高等工学校校の募集が中学生向けに行われる。同校は自衛官養成を目的とした教育機関で2・3学年では射撃訓練と戦闘訓練も実施される。これは戦前の陸軍兵学校を思わせ平和を町政の柱とする滑川町としてこのような広報への掲載は不適切ではないか。

**A** 他の自治体も同様に広報しており、滑川町だけ掲載しないことはできない。

外国人の人権を守る啓発は

**Q** 同和問題に関する人権啓発活動が行われているが今社会的に外国人へのヘイトなど人権問題が社会問題化している。外国人に対する人権問題の啓発も必要だ。

**A** 全戸配布しているリーフレットに外国人の人権についても記載している。



## 8月7日豪雨被害状況の詳細調査は必須

**Q** 行政報告書には「多数」とあるが、令和6年8月7日から8日の大雨による車両水没の具体的な台数は？

**A** 正確な台数は把握していない。

**Q** 対策工事等の前提となる災害調査はしっかりすべきだ。行政の透明性を保つ、公表できる被害調査を今後行つてほしいが、いかがか。

**A** 今後は実数がわかるように各被害場所等も把握し、各課とも連携しながら数字の方をしっかりと固めていきたい。



水深 140cm の記録があり、車両被害も大きかった場所

## 土地開発基金の活用要件は

**Q** 羽尾表土地改良区内道路・宮小プール用地・福田両表農村公園用地は、土地購入後、施設の開発利用まで進んでいない。いわゆる、土地を寝かせてしまっている状態だ。土地開発基金はどのような運用をしているのか。

**A** 将来の事業執行にあたり、土地の取得が必要な場合に、当基金を活用し、土地を購入する。しかしながらその後の社会情勢等の変化により、当初の予定どおりになっていないものの中にはある。

## コミュニティセンター施設整備基本設計策定等業務委託

**Q** 進捗状況は。

**A** 令和5年度の基本計画、令和6年度に基礎調査と基本設計が完了。建物を建設するための詳細な図面を作る実施設計業務を今年度実施中。

**Q** 福祉センター、農村公園用地等、建設計画の担当課と実際に管理する担当課が違つたために途中で中止や変更となること、滑川町の継続した課題である。今回のコミュニティセンター設計の担当課は。

**A** 総務政策課。様々な専門

的観点から教育委員会など関係課局で庁内会議を行っている。稼働した際には利用しやすいようにしたい。

**要** おそらく今までもそのように思いつつ進め、最後調整がつかなかった。当件は住民意見を十分に聞く段階がない。今からでも住民意見を入れ進めることを検討してほしい。

## デマンド交通の予約困難な曜日は

**Q** デマンド交通の予約で曜日ごとの混雑状況は把握しているか。いきいきサロンが行われる水曜と金曜が混んでいると聞いた。

**A** 予約困難曜日については資料がなく不明。予約を断つた件数は77件。

## 民間委託化でごみ処理費用の増加率は

**Q** ごみ処理費用が民間委託により増加したが何%の増加か。

**A** 令和5年度から令和6年度にかけて、トンあたり負担金が5%増加。負担金総額には可燃物以外の不燃資源も含まれる。

## 防災安全社会資本整備交付金事業道路等工事 6149万円

**Q** 内容は。

**A** 舗装工事を2路線行つた。1本目は月の輪七丁目地内・月の輪セブンイレブンより西へ、108号線を約320m。もう1路線は羽尾地内・宮小下のT字路から東へ、109号線を約320m施工した。



令和6年度舗装修繕工事箇所図 -109号



令和6年度舗装修繕工事箇所図 108号



町道 109 号線道路工事起点  
宮前小学校坂下T字路からコミュニティセンター方向へ



町道 108 号線道路工事起点  
コンビニ前から月の輪小方向へ

**Q** 舗装が必要な道路は複数あるが、優先順位をどのように決めているのか。

**A** 現状のひび割れ率・わだち掘れ量等を数値化し、その数値に基づいて行っている。

**要** それら数値に加え、道路の使用率、1日に車が何台通るのかなども考慮しながら進めてほしい。

## 森林公園駅前広場等植栽管理委託料44万円

**Q** 森林公園駅前の植栽は、かなり荒れてきている印象だ。予算をかけて丁寧に管理できないか。

**A** 数十年前に比べ樹木の被害が目立つ。害虫・猛暑・樹木の寿命が影響していると考えている。枯木を中心に伐採剪定し、生きている木は極力残す管理をしている。滑川町の玄関口であり、景観に配慮した維持管理を実施していきたい。低木の管理はシルバー人材センターに一括で委託・発注している。

**要** 作業しているシルバー人材センターの方と話した際、植栽に関しては素人なので、と言っていた。植栽全体の管理はなかなか厳しいものがある。植木屋・プロに管理を依頼することを検討してほしい。



森林公園北口広場

## 福祉課・高齢介護課の会計年度任用職員

**Q** 福祉課・高齢介護課の会計年度任用職員の属性と業務内容は。

**A** 福祉課・女性2名、男性6名。業務内容はデマンド交通受付2名、ドライバードライバー4名、一般事務1名、子ども家庭支援員1名。

高齢介護課・6名、全員が女性。高齢者福祉担当1名（一般事務）、介護保険担当5名（うち1名一般事務、4名認定調査員）

## ハイルスクアプローチ事業とは

**Q** この事業の内容は。

**A** 高齢者の保健事業と介護予防を一体的に行うもの。国保データベースシステムを活用し、健康状態不明者や低栄養疑い者を抽出。令和6年度は53名の健康状態不明高齢者を特定し支援を実施するもの。

## 認知症見守りシール事業の利用状況は

**Q** 認知症高齢者等見守りシール交付事業が令和6年度は利用者0名だが検討が必要では。

**A** 過去には3名利用実績があり今年度は新規利用者1名だ。

## 生活保護相談で預金残高の指導は

**Q** 生活保護相談で保護に至らなかった件数は。預金残高の指導はしているか。

**A** 生活保護相談は24世帯、うち12世帯が保護に至らなかった。保護に至らない主なケースは、施設利用費用の支払い困難、年金不足による生活困窮など。預金残高の基準は町では把握しておらず、判断は埼玉県西部福祉事務所が担当。町では預金残高を参考に報告するが、保護判断基準は考慮していない。

## P F A S の水質調査は

**Q** 河川・農業用水の水質調査の検査項目にP F A S は含まれるか。

**A** 水質調査にP F A S 検査は含まれていない。管内で統一した項目で実施している。P F A S 検査は今後の検討課題。

## 沼の水質調査への参加状況は

**Q** エコミュージアムセンターの生物水質調査の参加状況は。

**A** 令和4年度より開始し、令和5・6年度は小中学生の参加者が増加傾向。新たに滑川総合高校が加わった。

## 総合運動公園整備用材料費79200円

**Q** 内容は。

**A** 除雪用の塩化カルシウムやグラウンド用の砂の購入に使用している。

**Q** ナイター施設の現状は。

**A** 盗難被害後にトイレ等に必要なる管理等の電源部分のみ緊急修繕で復旧している。

**Q** 体育施設に何かしらの緊急的な修繕が必要となった場合にはどう対応するのか。

**A** 体育施設に限らず学校施設は、通常修繕料として当初予算をつける。大規模な修繕の際、緊急の場合であれば、予算の流用、もしくは予備費の充当で対応している。

## 給食の米の単価は

**Q** 給食用の米は町内の谷津田米が使われている。米が高騰しているが単価は。

**A** 給食用米は農協から購入し単価は農協が決定。昨年度途中で単価変更があり、価格が上昇した。

## 「ふれあい弁当の負担大きい」への対応は

**Q** 親子ふれあい弁当が保護者から負担が大きいとの声があるが。

**A** 親子の触れ合い時間確保のため継続していく。

## 給食用品費と給食委託料

**Q** 給食費には物価高騰のための補正予算が含まれているか。

**A** 含まれている。

**Q** 年度途中の予期せぬ事象に対処するための項目はあるか。

**A** そのための予算科目はなく、原則補正予算で対応しており、その財源は一般財源となる。

## 児童福祉総務費が増えている

**Q** 時間外勤務手当が大幅に増えているが特殊事情があったのか。

**A** 児童手当の改定があり、事務量が増えた。

**Q** 利用者支援事業補助金は金額が大きく、前年度からの伸びも大きい。なお、算出根拠が分からない。

**A** 「子ども・子育て支援事業交付金」の交付要綱に沿って算出している。

## 子育て応援金支給事業は今後廃止か

**Q** 子育て応援金支給事業は子育て支援金支給事業を引き継いだ事業だが、令和6年度末で廃止となるのか。

**A** 国の「出産・子育て応援交付金事業」が恒久的な制度となることに伴い、その役割を終え、廃止されることになった。



## 乳幼児健診の時期

**Q** 3歳児健診が3歳6〜8か月で実施されている理由は。

**A** 3歳児健診では尿検査、視力検査、聴力検査など子ども自身が行う検査が多く、3歳時点では難しい検査があるため3歳を過ぎて実施している。

**要望** 3歳半では、半分程度の子が幼稚園・保育園年少に進級する。発達障害等に対応が必要なものもいる。幼稚園入園前に健診を実施する必要性もあり、タイミングを再考してほしい。

## 要保護児童援助費

**Q** この費用というのは年々の傾向増加しているのか。物価高騰等による経済的困窮の影響は出ているか。

**A** こちらの人数は微増の状況。その影響は出ていないと感じる。

## 奨学金

**Q** 奨学金の利用者がなかなか伸びない。奨学金を必要とする方は多くなる経済情勢かと思う。何かしら使いにくい要因があるのではないか。使いやすいような条件を緩和するなどの見直しは考えているか。

**A** 条件等を見直すことは考えてはいない。利用拡大のため周知方法等を見直すことを

考えたい。

**要望** せっかくの基金がもう少し活用されるよう改善してほしい。

## 討 論

### 反 対

反対の理由は第二に町の財政状況から見た使い方の問題だ。これまで人口増による町

税が伸びてきた。しかし、社会保障関係費などが急増しその増加率が収入額を上回ってしまった。2024年でその差は9億8千万円まで広がった。単年度収支は3年連続して赤字。経常収支比率は3年連続して悪化した。今後も高齢化は進み、この傾向は大きくなる。収入面では人口の増加はこれまでのように進まないと思われ。トランプ関税の影響で製造業は落ち込むと心配されている。このような状況を踏まえると町は極力節約していく必要がある。しかし、昨年40周年事業に1383万円をつぎ込み、コミュニティセンターの基本設計に2770万円が支出され、建設資材や人件費が高騰する中で工事費用の増が心配される。

第二に、昨年の豪雨災害に

ついでに対応だ。町はその被害総額も明らかにしていない。被害について詳細な調査を行い被害住民との話し合いを丁寧に行うべきだった。

第三に現コミュニティセンターの修繕工事が昨年行われたが今年もまた故障しエアコンが使えない事態だ。きちんとした修繕工事を行いこのようなことが起きないようにすべきだ。

### 賛 成

まず今回提出された決算報告を詳細に検討した結果、当初の予算に基づき、各事業が計画どおり進行し全体的に期待された成果を上げていることを確認した。監査報告でも特段の問題を指摘されておらず透明性が確保されている。歳入欠陥や不用額などいくつかの改善点や課題も存在しているが、これらについては今後の予算編成や事業計画の中で適切に対応していくことが求められる。これらの課題を踏まえつつ、今後も効率的効果的な財政運営が行われることを期待する。本決算を通じて私たちの地域がさらなる発展を遂げることを確信し賛成の討論とする。

## 議案審議 Q&A

### 議案第48号

定額減税事業で減税も給付もされない方へ

**Q** 令和6年度の定額減税で給付されなかった方への給付事業だがどういう方が対象か。

**A** 令和6年度の減税措置で減税しきれなかった方と、新たに滑川町に転入してきた方。令和7年1月1日時点で滑川町に住民票がある方が対象。

### 議案第49号

「住登外」者へのサービスは

**Q** DV被害などにより住民票に住所が記載されることで追跡されるリスクを負う方のために住民票を置かずにいる方「住登外」の取り扱いについて。

**A** 本人以外は住民票や戸籍の発行を制限する。マイナンバーカードの利用が制限される以外は他の住民と同じサービスが受けられる。カードの

利用によって住所などの個人情報特定されるリスクを防ぐため。マイナ保険証が利用できなくなる。

### 議案第56号

「ふるさと創造資金」は工事でも使えるか

**Q** 県からの「ふるさと創造資金」970万円がコミセンの設計に使われるが工事にも使える補助金なのか。

**A** 来年度以降の工事にも補助金が見えるよう要望していく。

## 財政調整基金の残高は

**Q** 財政調整基金への4500万円の繰り入れが行われた。基金の残高は。

**A** 年度末の残高見込みは8億5237万8000円。

## 介護保険特別会計からの繰入金

**Q** 介護保険特別会計繰入金を一般会計に入れるタイミングが今になっているのは何故か。

**A** 一定のルールに基づき令和6年度に一般会計から介護保険特別会計へ繰出をしており、充当した事業の決算額を踏まえて翌年度一般会計へ返還することになっている。

「子ども若者まちづくり委員」とは

Q 子ども若者まちづくり委員謝礼」に8万円の予算だがどういう事業か。総合振興計画の策定に関わるのか。

A 委員は公募で20名を予定。こども基本法の制定等により、子どもたちの意見を町の政策に反映するために設置される。総合振興計画には既に若者の意見を聴取済み。

### 保育士宿舍借上げ支援

Q 保育士宿舍借上げ支援事業への利用状況と補正の内容は。

A 希望する4園に対して分配。希望する園が増えたため、補正予算が追加された。

### 高齢者補聴器購入補助の利用条件緩和を

Q 嵐山町では高齢者補聴器購入費助成金の予算が30万円で、すぐに埋まると聞いている。利用条件の緩和を求める。

A 当初予算4万円(2名分)に加え、申請者が増えたため合計6名分となった。条件緩和については、高齢者福祉事業検討委員会で継続的に議題として検討する。

### 民生費の増額

Q 老人福祉団体等活動費補助金の増額理由は。

A シルバー人材センター事務所窓枠修繕のための増額。

### 観光費の増額

Q 滑川まつり事業補助金の増額理由は。

A ポスター印刷、吹奏楽関連等で追加が発生した。

Q 観光協会補助金の増額理由は。

A 11月に松島町で「かき祭り」が実施されることとなり、招待があつたため。

### 土木債の減額

Q 土木債の減額理由は。

A 防災安全社会資本整備交付金事業債について、当初2路線の工事を予定していたが国庫補助の内示率が減額したため事業を縮小した。

舗装のグレードアップに関する補助金は全国的に需要が多く、町は9500万円を要望したが内示では約1割の905万円しか付かなかつた。

Q 例年の状況は。

A 例年も少ない傾向にあるが今年度は特に少ない。

### 防災安全社会資本整備交付金事業7800万円

Q 減額の理由は。

A 補助金額が確定し、確定した補助金に見合った工事のみを実施した結果である。当初は3路線を要望していたが、実際には予定していた2路線から1路線に縮小した。

### タブレット費用

Q タブレットPC等管理更新委託料と校内LAN等保守等委託料(合計約2000万円)が補正予算に計上された理由は。

A 当初予算では予算編成上財源の確保が難しかった。年度内に契約ができれば執行可能なため補正予算で対応することにした。内容は、約2000台のタブレットPCのソフトウェアライセンス更新料と、小中学校4校の無線アクセスポイント等の保守およびライセンス料の更新である。

### 幼稚園外周フェンス設置工事876万円

Q 経年劣化であれば当初予算でなく、なぜ補正で行うのか。

A 経年劣化が進んでいたフェンスについて、2月に不審者が園庭に入った件があり、現在の80〜90cmのフェンスを180cmに高くする工事を行う。既存のフェンスを入れ替え、片開きの門扉も増設する予定である。



腰高の滑川幼稚園フェンス



滑川幼稚園の劣化したフェンス

### 滑川中学校東校舎多目的室の改修工事

Q 工事の内容は。

A 35人学級の段階的導入や特別支援学級のクラス数増加に対応するため、東校舎1階の広い教室を間仕切りで2教室に分ける工事である。工事内容は間仕切りの設置だけでなく、電気設備工事やICT機器の整備も含まれる。



多目的教室を2つに区切り2教室とする改修  
パソコン画面を投影するためのプロジェクター  
などICT機器も増設される



議案第57号

国保税に「子育て支援金」の負担が追加

子ども子育て支援金の新設に伴うシステム改修によりこ

れまで国保税には医療分、後期高齢者支援分、介護保険分と3つであったがこれに子ども子育て支援分が加わることになる。子育て支援の費用を医療保険から負担しようとしている。医療保険としての在り方が変わってしまう。国への意見書など出す必要がある。「A」税的な色合いが強いと感じている。

子ども子育て支援事業費補助金

令和8年から新設のために行うシステム改修費。これにより国保税にどのような影響が出るのか。

A 前々から1人500円等の報道がされているものだが、現時点で額が未定。

システム改修は可能な状況なのか。

A 税率等は未定の状態だが、子ども子育て支援事業費の算定分の枠をシステム内に設けることは可能。

子ども子育てに関する事

業に使われ、今までの社会保険税とは性質が違っていると捉えるが、どうか。

A 子ども子育て支援金分は子育て支援のための財源として、徴収されるものと解釈している。

子ども・子育て支援金に関する試算

	加入者一人当たり支援金額		
	令和6年度推定金額	令和7年度推定金額	令和8年度推定金額（注）
全制度平均	250円	350円	450円
被用者保険	300円 （標準）被保険者一人当たり300円	400円 （標準）被保険者一人当たり400円	500円 （標準）被保険者一人当たり500円
協会けんぽ	250円 （標準）被保険者一人当たり250円	350円 （標準）被保険者一人当たり350円	450円 （標準）被保険者一人当たり450円
健保組合	300円 （標準）被保険者一人当たり300円	400円 （標準）被保険者一人当たり400円	500円 （標準）被保険者一人当たり500円
共済組合	350円 （標準）被保険者一人当たり350円	450円 （標準）被保険者一人当たり450円	600円 （標準）被保険者一人当たり600円
国民健康保険（市町村国保）	250円 （標準）被保険者一人当たり250円	300円 （標準）被保険者一人当たり300円	400円 （標準）被保険者一人当たり400円
後期高齢者医療制度	200円	250円	350円

出典：「子ども・子育て支援金制度について」令和7年3月（P10）  
こども家庭庁長官官房総務課支援金制度等準備室



討論

議案第57号

令和7年度滑川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議定について

反対

現在はシステム改修というところで金額は小さいが、今後これに関する金額が加算されてくる。子ども子育て支援事業費は、事業に対し使われ社会保険税の従来目的とは意味合いが異なっている。現在国保税負担は重くなっており、それに対してさらに項目を付け加え負担金を増やしていく事に反対する。

賛成

今後、国民保険税には子ども・子育て支援分が入ってくるのは、被保険者にとつて大きな負担となる。このことについては、町ではどうにもならないことではあるが、県・国に対して負担軽減の要望等はしているものと理解している。

また、本補正予算は、このこと以外にも、その他多岐に渡る部分で予算補正をしており、否決するわけにはいかない。

議案第59号

子ども子育て拠出金のためのシステム改修費に疑問

子ども子育て支援金分の算定では国保と同じような金額が想定されているのか。

A 被保険者の負担額の率は、国保も後期高齢者も大体同じになる。規模感は未定だ。

後期高齢者医療特別会計は、他会計から繰入られている金額も多い。その率は。

A 後期高齢者医療の保険料が運営財源のどのくらいの割合を占めるかというと、一般的に全体の運営財源の1割が目安。その他の9割は国費・他の医療保険からの拠出金で賄われている。

討論

議案第59号

令和7年度滑川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の議定について

反対

子ども子育て支援事業費に反対だ。後期高齢者医療制度は、特別会計だけではなく、一般会計からの支出も非常に多い。被保険者が納めている

議案第67号

指定避難所空調設備設置工事で、福田小学校・月の輪小学校・滑川中学校にそれぞれの体育館に空調設備を設置する契約だが、3か所の内訳は。

A 三校一括で発注しており、個別の金額等はでない。

機械そのものとしてはいくらぐらいのものを入れるのか。A 機械工事は、総額で約1億2205万円である。

では一つの機械が4000万円くらいと推測する。契約金額に対する補助金の額と、町の実質負担金は。

A 緊急防災・減災事業債は充当率が100%、交付税措置が70%でありこれを活用する。

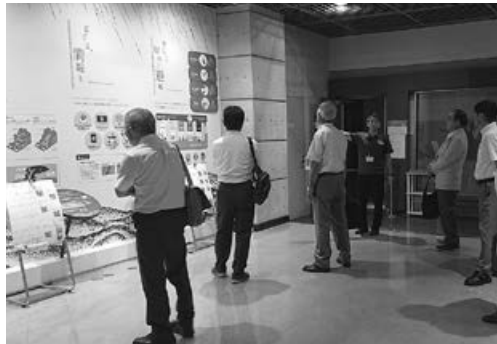
分はたった1割で、そこに子ども子育て支援金という別の年齢層のものを入れ込んでいくのは、後期高齢者という年齢層を独立させた当初の設立目的からかなり外れてくる。他の世代に割くよりも、被保険者保険料で運営する方向を本来は目指すべきで、それと全く反する方向に制度が進行しているというところに非常に違和感を持つ。

## 総務経済建設常任委員会

期日 令和7年7月29日  
場所 埼玉県防災学習センター（鴻巣市袋30）

職員の案内により、水消火器による消火体験、最大風速30mの暴風体験、東日本大震災と同様震度の地震体験、火災に備えた煙体験や各種展示などを通じ、災害が起きた時の対応や日頃からの備えを学習した。

最近の異常と  
思える気象現象  
の多発、遠く  
い将来発生す  
ると予測され  
る大地震。行  
政も住民各自  
も、いつ発生  
するか分から  
ない災害に普  
段から備えて  
おくことの大  
切さを学んだ。



災害への備え・心構え等を受講

期日 令和7年8月20日  
場所 埼玉西部クリーンセンター（鳩山町熊井）

令和5年3月に竣工した鶴ヶ島市、鳩山町、毛呂山町、越生町の1市3町（地区内合計人口約13万人）のごみ処理を担うゴミ焼却施設を視察した。処理能力は130トン/日である。

最新式の高度排ガス処理設備を備えた焼却施設と併設する高効率ごみ発電施設により、環境に配慮した施設となっている。また敷地内には、かまどベンチ・マンホールトイレ・備蓄物資も備え、鳩山町の指定避難所ともなっている。



集中管理による施設運営

## 文教厚生常任委員会

期日 令和7年8月6日  
場所 ①介護老人保健施設いづみケアセンター  
②埼玉森林病院デイケア「和」

①訪問リハビリの他、通所リハビリやショートステイ等のサービスを提供している。自立支援を目的すりハビリ施設。

②認知症の方の心身機能の回復や維持を図る。複数の医療専門職が関わることにより、症状の改善を支援する。どちらの施設でも職員がはつらつと動き、入所されている方々に温かい声かけをしていることが印象的であった。



介護支援ロボット：立ち上がりをサポートし、介護者の負担を軽減する

## 小川地区衛生組合 議会定例会

期日 令和7年8月19日  
場所 小川町議会議場

### 《付議された議案》

- 職員に関する条例の一部改正
- 令和7年度一般会計補正予算
- 令和7年度一般会計決算の認定

令和7年度決算では、歳出総額15億4700万円、歳入総額17億8000万円。内訳は、衛生費14億6800万円、予備費1億1000万円、総務費7800万円、議会費173万円等であった。

条例では、育児休業が時間単位で申請できる部分休業、病気休暇に関連する改正があった。

## 比企広域市町村圏組合 議会定例会

期日 令和7年8月7日  
場所 東松山市議会議場

### 《付議された議案》

- 専決処分の承認（監査委員の選任）
- 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 各会計の繰越金確定等に伴う補正予算
- 各会計の令和6年度歳入歳出決算の認定
- ※各会計：「一般会計」「消防特別会計」「斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計」「介護認定及び障害支援区分審査会特別会計」「公平委員会特別会計」



# 一般質問



**赤沼 正副 議員**  
**小澤 実 議員**  
**谷嶋 稔 議員**  
**井上 章 議員**

● 社会的弱者に対する成年後見制度 ● 平和啓発事業

● 農業行政

● 中学部活動の地域移行 ● 町のバリアフリー

● 消防団員家族福利厚生事業 ● 滑川町が保有する災害関係の備品点検 ● 公共施設への太陽光発電

**西宮 俊明 議員**

● 福田小学校、月の輪小学校、滑川中学校の体育館へのエアコンの設置状況、宮前小学校の体育館の建替計画と避難所としての整備計画 ● 滑川町の公共施設等のトイレ整備状況 ● 動物愛護の環境整備

**阿部 弘明 議員**

● 子ども誰でも通園制度の条例化 ● 埼玉県の一歳児加算要件の廃止を求め、町独自の保育士加配事業の検討を ● 平和事業のさらなる発展を ● 給食費無償化へ国への要望を 給食の調理を町独自調理への移行を

**原 徹 議員**

● 滑川町のあるもの探し、なめがわ郷土かるたの活用 ● 滑川町手話言語条例の活用

**中西 文寿 議員**  
**上野 葉月 議員**

● 観光推進 ● 歩行が困難な方に優しい施設とは

● 給食の提供方法 ● 宮前小学校体育館 ● 小学校の通学バス ● 小中学校の水泳授業 ● 文化スポーツセンター

図 人が安心して日常を営み、子ども

**問** 町が各種事業を行うにあたり、その根底には「平和」があると思うが、平和及び広島平和記念式典中学生派遣事業に対する町長の考えは。

**答** 広島、長崎また沖縄の人々と私達とは戦争認識において大きな温度差があることは否めない。町の子供たちが戦争被災地を訪れ、核廃絶、不戦の誓い、平和を希求する心の認識を新たに、平和実現に向けての行動力を持つことは有意義であり、そのことは、子どもたちが学ぶ教室においても大切な認識、必要な力だ。「平和は教室から生まれる」を合言葉に、実際の体験や歴史の学びを通じて平和の尊さを伝える教育活動を推進する。

**問** 平和記念式典への参列や平和記念資料館や原爆ドームの見学を通じ、平和の尊さ、大切さを肌で感じ、戦争の悲惨さや、広島を生きた人々の想いを知り、平和について考えることは、有意義な事だと思うが、教育長の考えは。



あかね まさのり  
**赤沼 正副 議員**

**問** 広島平和記念式典中学生派遣事業  
**答** 平和事業として実施できればと考える

もが未来を信じていることができる、全ての人がお互いの尊厳を守りながら生きられる社会、それらが備わる、備えることができることが、平和につながる。行政運営のモットーは、平和でなければ何もできない。平和だからこそ何でもできる。これが平和への思いだ。

終戦80年、沖縄県への研修で、ひめゆり部隊の証言ビデオ、対馬丸事件の真相、その中で九死に一生を得た年端もいかない子どもからの証言ビデオや平和に対する感想文、多くの資料展示等、なんとも言えない「やるせない、身につまされるもの」があり、小中学生の感想文はどれも立派で、感性豊かな時代に平和に対する願いや戦争の悲惨さ、愚かさを見たり聞いたりすると、こんな素晴らしい考え方になるのかと。沖縄の地に町の子ども達を連れて来たい、或いは派遣できないかと思つた。

広島平和記念式典中学生派遣事業を実現するにあたって、事前学習や現地での研修、さらに研修後の集約やその成果の町民向け報告会を通じて、平和事業として実施できればと考えている。



おざわ みのる 議員  
小澤 実

## 問 今後の「農業行政について」

農業は、今後も町の基幹産業であり、重要である

答

問 農業経営基盤強化促進法の改正に係る取組について。

答 改正に伴い、地域計画を作成し、町ホームページで公表を行っている。

問 地域計画は何年計画か。

答 概ね10年先を見据えた想定計画である。

問 地域計画について今後の取組は。

答 産業振興課だけでなく農業委員会や関係機関と連携を行い、農家の皆さんの意見や思いを聞く機会を設け、今後も農業が継続していくために地域計画は随時修正を行っていく。

問 町内に設定された地域計画の、地区数と農地面積は。

答 10地区を設定した。町内農地面積約895haに対し、654haを設定、農地面積の率として73・1%である。

問 今後の農業の担い手の確保につ

いての取組は。

答 埼玉県農業大学校に向いて就農相談の実施や滑川農産物直売所で開催される農業祭で農業相談を行っている。

問 現在の農業従事者が、継続して農業を営むことができるように町が支援をして行くことが重要である。今年度実施している「農業者向け滑川町物価高騰対策事業者支援金」はありがたい施策である。国内外の情勢により肥料や薬剤、生産用資材や農業機械、燃料価格等全ての物価が高騰している。また、水稻栽培農家に目を向けると近年イネカメムシが大量発生しており被害拡大の懸念がある。さらには令和の米騒動といった農業を取り巻く状況は厳しく、農業行政の総合的な施策推進が求められるが、町長の考えは。

答 町の基幹産業は農業であり、今後も応援をしていくことに変わりない。このため、農家の意向や思いを聞いていく中で施策を考えていきたい。水稻栽培向けの病害虫対策等の予算処置を考えたい。



やじま みのる 議員  
谷嶋 稔

## 問 中学部活動地域クラブ移行

国の改革方針に基づき方向性を定める

答

問 中学部活動が地域クラブに移行すると、クラブ会費など保護者の負担が増えるか。移行のロードマップは、どのようになっているか。

答 指導者やコーチの報酬、活動場所の使用料、傷害保険の加入に係る保険料、地域クラブ活動により金額は変わってくるが、保護者の負担になる。町は、令和5年度に「滑川町部活動の在り方検討委員会」を設立し調査・研究している。国は、改めて改革実行期間を設定し改革方針を示す見込み。その方針に基づき、町としての方向性を定め、ロードマップを作成する。

問 中学の教員以外の部活動指導員は何人いるか。今後も生徒たちを指導していきたいと考えている教員について、どのように考えているか。

答 部活動指導員ではなく、専門的な技術指導を行う外部指導者を配置している。現在吹奏楽部1名、テニス部に3名、陸上部に1名の合計5名、今後、卓球部に2名追加予定である。地域クラブで引き続き指導を希望する教

員については、指導に当たられるよう、兼職兼業の活用を促進していく。

問 電動車椅子などを利用して駅に向かって電車に乗る人を見かける。森林公園駅南口に通じる歩道は、草が伸びているところも多少あり、高齢者や障害者の歩行の安全面から草刈りを実施してほしい。要望があれば実施していただけるか。

答 質問の森林公園駅南口に通じる歩道については対応していく。

問 シニアカー、ベビーカー、杖を利用している方から歩道の傾斜を無くしてほしいといった要望がある。傾斜を軽減することはできるか。

答 個別の箇所ですりつけ等の対応ができるかどうか検討していく。

問 車椅子で入りにくい投票所はあるか。

答 入りにくいといった声はいただいているが、要望があれば、対応を検討していく。





いのうえ あきら 議員

## 問 消防団員家族福利厚生事業の再開は

消防団員ご家族の意向を最優先に検討していく

答

## 消防団員家族福利厚生事業について

問 コロナ禍以降消防団員家族福利厚生事業は行われていないように思われるが。

答 現在比企管内ではすべての消防団で実施していない状況で、再開する予定はないとのこと。ただアンケート調査などを行い、今後希望があれば予算化も含めて検討するが、消防本部の動向など、引き続き比企管内の他の消防団の状況も確認していく。

## 町が保有する防災関係の備品点検

問 エンジン照明や発電機など、これらの機器は燃料を使用する特性上適切なメンテナンスが不可欠だが、定期的な点検を行っているのか。

答 動作確認が必要な機器などは、月に一回エンジン始動を行い使用できる事を確認している。町の防災行政無線など専門的な知識や資格がないと管

理が難しいものについては、専門業者との保守点検を委託して対応している。

## 公共施設への太陽光発電

問 新コミュニティセンターは太陽光発電の設置計画はあるのか。

答 現在、実施設計を策定中である。昨年度に策定した基本設計にも太陽光発電は設置する計画をしているため今年度策定予定の実施設計でも災害時に備え、設置する予定である。

問 公共性の高い町内の集会所への太陽光パネルや蓄電池の設置状況は。

答 町内29か所の地域集会所があるが太陽光発電を設置している集会所はない。今後の町の考え方、方向性としては、既存の公共施設は古い施設が多く、設置するには施設の大規模修繕も必要なことから設置は考えていない。しかし新たに建設する施設については費用対効果など総合的に検討する。

要望 公共性の高い集会所などへ、太陽光や蓄電池などの設置を検討してほしい。



にしむら としあき 議員

## 問 宮前小学校体育館の空調について

ユニット式空調設備を設置の方向で！

答

## 小中学校の体育館の空調設備

問 福小、月小、滑中の進捗状況は。

答 今議会で、工事請負契約の締結について議決をいただく予定である。

問 宮小の検討状況は。

答 建て替えの方針。着工まで年数がかかる。町長から「建て替えまでの間の空調設備の設置」について検討するようにという指示を受け、現在、ユニット型空調機器の設置を考えている。

## 公共施設のトイレの整備状況

問 各要望が実現できないか。

答 ①図書館の多目的トイレの段差は検討し解消したい。

②総合体育館の多目的トイレ扉の改修は困難。可能な範囲での改善を検討する。

③月の輪小学校舎内の第2学童の女子和式トイレの洋式化は、来年度予算で検討する。



宮前小学校の体育館

④滑川まつり等の際に福祉センターのトイレを開放することについては、役員の配置などが可能か協議していく。

## 動物愛護の環境整備

問 さくらねこ無料不妊手術事業の実績は。

答 申請は少しずつ増えている。相談者に寄り添い、早めに連絡頂ければ多めの枚数にも対応する。申請時の写真添付が難しい場合は実績報告時にまとめて提出いただくなど今後も柔軟に対応していく。

問 マイクロチップリーダーの導入・活用ができないか。

答 今後近隣市町村の活用状況を参考に検討する。

問 動物愛護週間に啓発事業を実施できないか。

答 実施していく。



あべ ひろあき 議員  
阿部 弘明

## 問 「誰でも通園」の基準 引き上げを

## 答 国の基準設定は適正

**「子ども誰でも通園制度」の  
基準引き上げを国に求めて**

**問** 来年4月から「子ども誰でも通園制度」が始まる。町は国に対して人員配置や設備などの基準の引き上げを求めるべきだ。また、条例化にあたり事業者や保護者との協議の場を設ける事などを求める。

**答** 国は適正な公定価格を設定するものと考えている。保育所連絡会などで説明、協議を行っている。

**町は県に「二歳児加算の要件を廃止せよ」の要望を**

**問** 埼玉県の二歳児加算の要件「登降園管理のICT導入」等の撤廃を求めるべきだ。撤廃しない場合は町独自で保育士の加配への補助事業を行うべきだ。

**答** 県に対する要望は行う。ICTによる登降園管理が未利用の園とは協議を進める。町独自の保育士加算、加配事業は行わない。

## 問 なめがわ郷土かるたの 一層の活用を！

## 答 教育・観光の両面において 今後も活用していく



はら とおる 議員  
原 徹

**問** 郷土かるたには滑川町のあるものが満載。これを学校教育・生涯学習等にどのように活用しているか。

**答** 町を知る教材として最も適したもの1つと捉え小学1年生全員に配付。かるた大会の他、1年生の昔遊び3年生の町探検等で活用。公民館教室や寿学級等でも活用。町民の皆さんに「ふるさと滑川町」を知り誇りに思ってもらえる機会となるよう努めていく。

**問** 郷土かるたに読まれている遺跡・文化財・名所・言い伝えなどを観光振興に活用しているか。

**答** 谷津田米にかるたの絵を使用。東松山・比企広域観光推進協議会がJAFとの共同イベントで活用実績あり。

**問** 過去に作成された「滑川郷土かるた散策マップ」の現在の活用状況は。

**答** 観光協会のホームページに掲載。

**問** 町制施行30周年で作成された「滑川町ふるさと散歩道」の状況は。

**答** 町ホームページ、教育委員会事務局の文化財マップに掲載。

**要望** 郷土かるたに読まれている文化財・名所等について観光案内看板等を作成するなどして、森林公園来場者等より多くの人に滑川町を知ってもらい楽しんでもらえるようにして欲しい。

## 問 手話言語条例の活用状況 条例制定後の活用状況は。

**答** 「滑川町手話奉仕員養成講座」「手話講習会」「手話普及リークンパーン」等を開催している。

**要望** 聴覚障害者だけでなく全ての障害者、高齢者、小児、外国人、誰もが暮らしやすい町づくりを進めて欲しい。







なかにし 中野 議員  
ふみとし 文寿

## 問 谷津沼農業システムの活用に向けた計画は

農業体験や農業関連イベントの準備を進めている

## 答

**問** 東松山・比企広域観光推進協議会との協議内容は。

**答** この協議会では、比企地域を「一つのミュージアム」と捉え、観光に関する情報発信を行っている。また、JAFやNEXCO東日本とも連携したイベントも実施している。

**問** 外国人向けに伊古の里を紹介する素晴らしい動画を見たが、町のホームページからは辿り着けない。このような質の高いコンテンツは、より多くの人に視聴してもらえよう工夫すべきではないか。

**答** 該当の動画は、滑川町農泊推進協議会が作成したものである。今後、同協議会に視聴できるよう働きかけを行っていく。また、他団体が独自に作成した映像についても、相互リンクが可能となるよう依頼していく。

## 歩行が困難な方に優しい施設とは

**問** 町役場の正面玄関の階段中央に

あるスロープは勾配が急で、車椅子での利用は危険に感じるが、設置目的は何か。また、階段には手すりを設置できないか。

**答** 埼玉県では、1995年に「埼玉県福祉のまちづくり条例」でスロープの勾配を1/12と規定しているが、滑川町役場庁舎は1981年に建築され、正面玄関中央のスロープは当時の基準で設置されたものである。階段の手すりは今後調査・研究する。

**問** バリアフリー化をさらに進めるためには、当事者の声を聞き、その視点を取り入れることが重要である。関係部署の職員が車椅子に乗り、実際の不便さを体験するような取り組みは検討できるか。

**答** 施設管理を行う職員が車椅子に乗って体験することは、非常に有意義であると考えている。さらに新入職員研修の一部に取り入れるなど、幅広い取り組みを検討していく。



うえの はづき 議員  
うえの 上野

## 問 他自治体同様、独自献立と自前給食調理をすべきでは

## 答

どだい無理

**問** 埼玉県内で全面委託方式で給食を提供する市町村は八潮市と滑川町のみで、栄養教諭・学校栄養職員の配置がないのも同じ2市町のみだ。オーガニック給食に取り組む自治体が評価されている中、滑川町はその選択肢さえ持てない。町は、全面委託方式を選択し続けるのか、町独自の給食献立作成や、自校方式またはセンター方式の調理設備を将来的に作る考えはあるか。

**答** 当面の間は全面委託方式を継続する。現在の委託先では町独自の献立対応は不可能であり、委託先の変更も困難。町給食は昭和53・54年くらいに保護者からの強い要望により始まった。早期導入の要望に町が応え、施設整備時間を短縮するため全面委託方式でスタート。そこから長い歴史をもって現在まで至る。また新たにスタートを切るのとは大変なことで、自校方式またはセンター方式の導入は、財政負担が大きく困難だ。

## 子育てナンバーワンを掲げ

**問** 当面の間は全面委託方式を継続する。現在の委託先では町独自の献立対応は不可能であり、委託先の変更も困難。町給食は昭和53・54年くらいに保護者からの強い要望により始まった。早期導入の要望に町が応え、施設整備時間を短縮するため全面委託方式でスタート。そこから長い歴史をもって現在まで至る。また新たにスタートを切るのとは大変なことで、自校方式またはセンター方式の導入は、財政負担が大きく困難だ。

るのであれば、他自治体が行っていることを全てやるべきだ。町長に聞く。献立や給食について、他の自治体が何十年もやっている事を滑川町はやっていない。そこをどう考えるか。

**答** できないことはできない、はっきり言って、それしかない。現状、地産地消は叶わない。私は給食を食べていない世代だ。孫に給食はどうかいつも聞いている。その答えは、給食は楽しみだし美味しいよって言うてくれる。私は現状でいいと思うている。よその自治体が行っているから同じようにしろと言われても、これは土台無理だ。

## 宮前小体育館の施設計画

**問** 昭和48年建設、建替計画はあり用地取得済み。それがなぜ進まないのか。施設整備の中の優先順は。

**答** 教育施設の中で、宮小体育館はかなり上位である。

**要望** 子どもたちが毎日使う施設で避難施設でもある。早期の建設を要望する。



## 表紙の写真 福田小学校稲作体験 9月16日 稲刈り作業



6月12日 田植え

福田小5・6年生が一本一本手で植えて、自然と触れ合い、泥の感触を五感で感じます。



鳥井沼（とりいぬま）

米づくりの水源確保のため「谷津」地形を生かし作られたため池を「谷津沼」といいます。沼下の水田には、標高差により水が供給されます。そこで採れたお米が「谷津田米」です。



8月31日 鳥井沼下にある田んぼ！



なめがわ郷土かるた

小学校における稲作体験は、子どもたちが日本の主食であるお米がどのように作られるかを実際に体験し、食や農業について深く学ぶための教育活動です。滑川町では、宮前小学校と月の輪小学校でも同じように稲作体験を行っています。特に福田小学校では、昔ながらの農法にもこだわり、天日干し「はんで掛け（はざ掛け・はぜ掛け）」を行います。

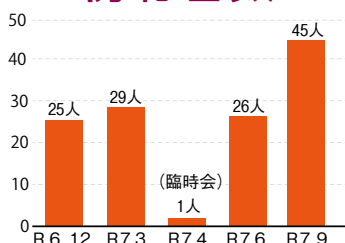
稲作体験により、お米が食卓に届くまでの大変さを知り、食べ物大切に作る気持ちや、生産者への感謝の心が育ちます。多くの人と協力して農作業を行うことで、協調性や連帯感が養われ、時間をかけて育てたお米を収穫する達成感、大きな自信につながります。また、農家の方や地域住民に指導者として協力していただくことは、世代を超えた地域社会への関心も高めます。子どもたちは、お米がたくさんの人の手間と時間をかけて作られていることを実感するのではないでしょうか。

協力団体 谷津の里・NPO 法人沼と里山・JA 埼玉中央・滑川総合高等学校（環境部）

次の定例会予定は

12月2日(火)～

## 傍聴者数



## 皆さんの声を

## 聴かせてください！

- 議会への町民の皆さんのご意見・ご感想を募集します。
- いただいたご意見・ご感想を紙面に掲載させていただくため、議員よりご連絡を差し上げることがございます。

《ご意見・感想はこちらまで》



議会

↑町のホームページ入力フォーム

※内容の欄に《議会だより感想》と必ずご記入ください。

## 編集後記

9月議会では、令和6年度決算審査が行われました。前年度3月に決まった予算がどのような変化を伴って実行されたのか、前年度との違いは何か、財政は健全か、などをそれぞれの視点から審議します。6年度の一般会計決算額は、当初予算と比較して13.3%の伸びとなり、過去最高額。町の税収は過去最高額と同水準です。

あなたの支払った税金はどのように使われているのか。

ぜひ議会傍聴にお越しください。お忙しい方のために、音声配信もしています。

(上野 葉月)